

資料編

(調査票)

さいたま・越谷	36
朝霞・川越	80
飯能・東松山・秩父	116
北本・本庄・熊谷	160
行田・杉戸	186

さいたま・越谷(第1班)

さいたま市（旧浦和市）における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1742 (寛保2年8月)	大雨 (寛保の洪水)	旧浦和市域でも荒川筋では各所で本流の堤防が決壊している。沼影村でも居宅が床上3,4尺から5,6尺も水につかる。綾瀬川沿いの高畑村では、綾瀬川、見沼代用水が溢れ、高場で1丈、低場で1丈2,3尺も浸水した。	無
1757 (宝暦7年4~5月)	大雨	見沼代用水路の瓦葺掛渡井が流出。備前堤の決壊も重なって大量の水が綾瀬川筋に流入し、各地で氾濫、破堤をおこした。植田谷領でも荒川の水が押し開き、植田谷本村では田畑のほか居宅まで浸水。	無
1802 (享和2年6月)	大雨	大門宿・下野田・上野田・高畑・新染谷村の御料・私領五カ村組合では、綾瀬川除堤に大門宿では堤長さ650間のうち切所欠崩等の修理箇所が延長さ241間が出たほか、4カ村でもこれに近い被害が出ている。	無
1824 (文政7年8月)	大雨	綾瀬川筋の染谷村・上野田村・高畑村・下野田村・大門宿・膝子村では切所25か所などの被害が出ている。	無
1878 (明治11年9月)	大雨	長雨で荒川が増水。田島、宿あたりで出水。荒川の堤防は決壊しなかった。	無
1910 (明治43年8月)	大雨	浦和付近の松本新田で荒川堤防が3カ所決壊。大久保地区では農作物が全滅した。大門村においては、綾瀬川が氾濫し、見沼田んぼも、東西の代用水路に芝川の水が入り、一面海のような状態となり、四本竹耕地の稲は皆滅した。	無
1947 (昭和22年9月)	カスリーン台風	北足立郡田間宮村（現鴻巣市）で荒川が破堤。北埼玉郡東村（現大利根町）で利根川が決壊。県下では罹災人口353千人余・死者101人、家屋被害は83,090戸、そのうち流出・前回・半壊などの大損傷は3,227戸で、残りは床上・床下の浸水。市域では床上浸水が土合村で10戸、大久保村で22戸、美笹村（後浦和市）で113戸。	無
1958 (昭和33年9月)	台風22号 狩野川台風	県内で床上浸水11,563棟、床下浸水29,980棟。（県河川砂防課）。大久保領家地内で鴨川の堤防が約30m、下大久保地内で約5m決壊。浦和市立清肥場付近でも15mにわたる決壊が2カ所。太田窪、原山新田、本太など、藤右衛門川及びその上流の天王川の流域低地を中心に市域では家屋以外は倒壊1、床上浸水1,042、床下浸水1,689の合計2,732戸に及んだ。	無
1963 (昭和38年8月)	低気圧	市内の藤右衛門川流域で830戸が床下浸水。	無

1966 (昭和 41 年 6 月)	台風 4 号	旧浦和市内で床上浸水 807 戸，床下浸水 3,602 戸を数えた。特に大きな被害を受けたのは，太田窪が床上 248 戸・床下 957 戸，本太が床上 154 戸・床下 296 戸，大久保領家が床上 81 戸・床下 29 戸など。	無
1998 (平成 10 年 9 月)	台風第 5 号	県内で床上浸水 585 棟，床下浸水 1,651 棟。浦和市では床上浸水 41 棟，床下浸水 87 棟。	無
1999 (平成 11 年 7 月)	大雨	浦和市で，床上浸水 158 棟，床下浸水 320 棟。	無
2000 (平成 12 年 8 月)	雷雨	浦和市で，床上浸水 54 棟，床下浸水 70 棟。	無
2005 (平成 17 年 9 月)	大雨	浦和市で，床上浸水 84 棟，床下浸水 56 棟。	無

出典：浦和市史，
さいたま市の水害に関する情報について（さいたま市総務局危機管理部防災課）

さいたま市（旧大宮市）における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無と NO
1786 (天明 6 年 7 月)	大雨	綾瀬川流域の宮下村では田畑が冠水し，家屋も 3 尺余の浸水被を受け，同年の収穫は皆無同様となる。中丸村では浸水家屋こそ出なかったものの，大凶作で夫食に差支えた困窮者が全体 60 軒余のうち半数の 30 軒にも及んだ。	無
1824 (文政 7 年 8 月)	大雨	宮ヶ谷塔村では近来稀にみる大水で，作物は水腐れを生じ，家屋も数日床上浸水という被害を受けた。荒川筋でも被害が大きかったようで，氷川神社では新開村からの出水届けに対して，出水見分に 3 人の社役人を派遣している。また，遊馬・土屋村二カ村で結成されている大囲堤組合では大囲堤に切所 9 カ所，欠所 9 カ所，大欠所 1 カ所，欠崩所 2 カ所の被害が出た。	無
1833 (天保 4 年 8 月)	大雨	大嵐。降雨量は洪水をもたらすほどではなく，大風による被害の方が大きかったらしい。荒川流域の神領新開村では稲草が吹折られたり，雨で出穂後の早稲が倒伏し，米価が高騰した。	無
1836 (天保 7 年 8 月)	大雨	大型台風。稲作をはじめ畑作まで水腐れを生じて収穫皆無に近い全国的大凶作。東北・関東では天明以来の大恐慌。	無
1846 (弘化 3 年 5~7 月)	大雨	荒川流域では遊馬・土屋村では宇古関尻・相ノ谷などの地内において，堤欠所 3 カ所，大欠所 1 カ所の被害が出ている。	無
1856 (安政 3 年 8 月)	大雨	大風雨の来襲。波木村（旧大宮市）では 12 軒が居宅や収納小屋等に損傷をこうむる。	無
1859 (安政 6 年 7 月)	大雨	綾瀬川筋においては小針領家村の備前堤切崩し事件や上瓦葺の掛渡井流出などがあって，染谷村外三カ村では流出家屋などが発生している。	無
1907 (明治 40 年 8 月)	大雨	大宮付近では，大石村から平方村（上尾市），馬宮村などで堤防が決壊したり，各所で水が堤防を越えて，家や田畑を浸水する。 「埼玉縣市町村誌」によると，大宮市内の被害状況は，日進村 田畑 30 町，三橋村 浸水 13	無

		戸 138 町, 指扇村 浸水 18 戸 田畑 200 町, 馬宮村 浸水 291 戸, 田畑 380 町, 植水村 浸水 219 戸 田畑 350 町, 合計 浸水 541 戸, 田畑 1,098 町。 指扇村では, 堤防を 2~3 尺越水し, 宝来に浸水。床上 4~5 尺に達し, 中には, 約 2m にも達した家もあった。馬宮村では二ツ宮の大囲堤が決壊し, 全村冠水状態となり, 全戸数の 485 戸が浸水した。床上浸水約 3m にも達した家もある。	
1910 (明治 43 年 8 月)	大雨	大宮市内の被害については, 堤防決壊 1 ヲ所・浸水 1,485 戸となっている。大宮市域で最も大きな被害を受けた指扇村では, 宝来堤や旧横手堤防もやぶれ, 家屋流出 10 戸, 倒潰家屋 4 戸, 浸水家屋 105 戸 (全 620 戸中), 死者 8 名などの被害を生じた。(大)	無
1926 (大正 15 年 9 月)	大雨	大塚古墳の付近で大旋風が発生。指扇村, 大谷村, 宮原村で死者 8 名, 重傷 30 名, 軽傷 30 余名, 家屋倒壊 144。	無
1998 (平成 10 年 9 月)	台風第 5 号	旧大宮市では, 床上浸水 40 棟, 床下浸水 26 棟。	無
2000 (平成 12 年 7 月)	台風第 3 号	旧大宮市では, 床上浸水 17 棟, 床下浸水 10 棟。	無
2000 (平成 12 年 8 月)	雷雨	旧大宮市では, 床上浸水 184 棟, 床下浸水 36 棟。	無
2009 (平成 21 年 10 月)	台風第 18 号	旧大宮市の区域では, 床上浸水 17 棟, 床下浸水 41 棟。	無

出典：大宮市史

さいたま市の水害に関する情報について（さいたま市総務局危機管理部防災課）

さいたま市（旧与野市）における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無と NO
1907 (明治 40 年 8 月)	大雨	島根・在家村（現大宮市）付近の荒川堤防数カ所が決壊した。宿村・白鍬村, 与野町八王子, 大久保・西堀・田島村辺まで広がり, あたり一面泥海となる。	無
1947 (昭和 22 年 9 月)	カスリーン台風	県内で床上浸水 44,610 棟, 床下浸水 34,647 棟。	無
1958 (昭和 33 年 9 月)	台風 22 号 狩野川台風	県内で床上浸水 11,563 棟, 床下浸水 29,980 棟。	無
1954 (昭和 34 年 9 月)	伊勢湾台風	県下の被害は死者 8 名、負傷者 55 名、全壊家屋 351 棟、半壊家屋 1,155 棟にも及んだ。	無
1966 (昭和 41 年 6 月)	台風 4 号	県内で床上浸水 17,500 棟, 床下浸水 57,825 棟。 床上浸水 807 戸, 床下浸水 3,602 戸を数えた。 旧浦和市内で特に大きな被害を受けたのは, 太田窪が床上 248 戸・床下 957 戸, 本太が床上 154 戸・床下 296 戸, 大久保領家が床上 81 戸・床下 29 戸など。	無

1966 (昭和 41 年 9 月)	台風 26 号	死者 28 名、負傷者 694 名、住宅浸水は約 76,000 棟、一部損壊を含む住宅被害は約 88,000 棟を数えた。	無
1982 (昭和 57 年 9 月)	台風第 18 号	県内で床上浸水 13,760 棟、床下浸水 50,075 棟。	無
1986 (昭和 61 年 8 月)	台風第 10 号	県内で床上浸水 6,060 棟、床下浸水 20,275 棟。	無
1991 (平成 3 年 9 月)	台風第 18 号	県内で床上浸水 6,382 棟、床下浸水 22,059 棟。	無
1998 (平成 10 年 8 月)	熱帯低気圧	県内で床上浸水 790 棟、床下浸水 2,623 棟。	無
1998 (平成 10 年 9 月)	台風第 5 号	県内で床上浸水 585 棟、床下浸水 1,651 棟。 与野市では、床上浸水 526 棟、591 棟。	無
2000 (平成 12 年 7 月)	大雨	与野市では、床上浸水 462 棟、床下浸水 454 棟。	無
2000 (平成 12 年 8 月)	大雨	与野市では、床上浸水 125 棟、床下浸水 412 棟。	無
2015 (平成 27 年 9 月)	関東・東北豪雨	県内で床上浸水 557 棟 (49 棟)、床下浸水 2,188 棟 (171 棟)。() 内はさいたま市分。	無

出典：与野市史，与野の歴史（与野市総務部市史編纂室，昭和 63 年 10 月 25 日発刊）
さいたま市の水害に関する情報について（さいたま市総務局危機管理部防災課）

さいたま市（旧岩槻市）における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無と NO
1718 (享保 3 年)	大雨	元荒川通出水。	無
1756 (宝暦 6 年)	大雨	関東水害，綾瀬川の沿村が被害を受ける。	無
1784 (天明 4 年)	大雨	利根川が決潰し，藩内は甚大な被害を蒙る。	無
1791 (寛政 3 年 9 月)	大雨	荒川大水，稲作大被害，平野堤が決潰寸前になる。	無
1828 (文政 11 年 5 月)	大雨	諸国大雨，埼玉郡の被害が最も多し。	無
1849 (嘉永 2 年 8 月)	大雨	元荒川通り出水する。	無
1856 (安政 3 年 8 月)	大嵐	民家潰れ当村（黒谷村）にても居宅 7, 8 軒潰れ，其外大小小屋，物置など 34, 5 軒潰れ古今稀なる大嵐。	無
1859 (安政 6 年 7 月)	大雨	大風雨にて備前堤が切れ綾瀬川一円に出水する。黒谷村の男は元荒川水板に出て末田土手を補強する。	無
1998 (平成 10 年 9 月)	台風第 5 号	県内で床上浸水 585 棟、床下浸水 1,651 棟。 岩槻市では、床上浸水 30 棟、床下浸水 83 棟。	無
2000 (平成 12 年 7 月)	台風第 3 号	岩槻市では、床上浸水 44 棟、床下浸水 141 棟。	無
2004 (平成 16 年 10 月)	台風第 22 号	岩槻市では、床上浸水 23 棟、床下浸水 144 棟。	無
2006 (平成 18 年 12 月)	大雨	岩槻市では、床上浸水 23 棟、床下浸水 65 棟。	無

2015 (平成 27 年 9 月)	関東・東北豪雨	県内で床上浸水 557 棟 (49 棟) , 床下浸水 2,188 棟 (171 棟) () 内はさいたま市分。旧岩槻市分では, 床上浸水 47 棟, 床下浸水 161 棟。	無
-----------------------	---------	--	---

出典：岩槻市史

さいたま市の水害に関する情報について (さいたま市総務局危機管理部防災課)

川口市 (旧川口市) における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名	被害状況	痕跡等の有無と NO
1675 年 (延宝 3 年 8 月)	大雨	諸国で洪水	無
1683 年 (天和 3 年 1 月)	大雨	諸国で洪水	無
1729 年 (享保 14 年秋)	大雨	源左衛門新田で畑が冠水	無
1730 年 (享保 15 年 8 月)	大雨	源左衛門新田で畑が冠水	無
1742 年 (寛保 2 年)	大雨	芝村田畑冠水、7 割 5 分の損耗	無
1757 年 (宝暦 7 年 5 月)	大雨	芝村田畑冠水、7 割 5 分の損耗 長蔵新田で冠水	無
1761 年 (宝暦 11 年夏)	大雨	長蔵新田で冠水	無
1766 年 (明和 3 年 7 月)	大雨	八木崎村田方損 戸塚村洪水 長蔵新田・籾八新田の田畑皆損 吉蔵新田田畑冠水 芝村で 6 割 5 分損耗	無
1768 年 (明和 5 年)	大雨	芝村上谷沼・中田原新田冠水	無
1772 年 (安永 1 年 8 月)	大雨	八木崎村冠水 吉蔵新田冠水	無
1780 年 (安永 9 年 6 月)	大雨	利根川・荒川・戸田川出水	無
1781 年 (天明 1 年 7 月)	大雨	芝川氾濫、元郷村田畑冠水	無
1783 年 (天明 3 年 6 月)	大雨	千住・浅草・小石川・神田上水洪水 芝川氾濫、元郷村田畑冠水	無
1786 年 (天明 6 年)	大雨	吉蔵新田田畑損耗 柳崎・大谷口・伊刈・井沼方・八木崎・円正寺・太田窪・原山新田で作物抽出 芝村作成 2 分上納	無
1795 年 (寛政 7 年 4 月)	大雨	元郷村で稲束流出	無
1802 年 (享和 2 年)	大雨	芝村水害	無
1826 年 (文政 9 年)	大雨	上青木・下青木・横曽根村水害	無
1831 年 (天保 2 年 7 月)	大風雨	芝村に被害	無

1836年 (天保7年)	大雨	吉蔵新田田畑冠水	無
1845年 (弘化2年)	大雨	横曽根村稲作に被害	無
1846年 (弘化3年6月)	大雨	利根川・荒川氾濫、川口宿・飯塚・横曽根・浮間の田畑冠水	無
1852年 (嘉永5年7月)	大風雨	横曽根村冠水	無
1856年 (安政3年8月)	大風雨	横曽根村百姓居宅63軒倒壊、榛松村で百姓居宅4軒全壊、6軒半壊、物置6個つぶれる	無
1868年 (明治元年6月)	大雨	大出水で荒川通り堤防数か所が決壊	無
1875年 (明治8年7月)	大雨	荒川通出丸下郷地内破堤	無
1884年 (明治17年9月)	大雨	荒川平水より18尺余高水、家屋の流出、被害あり	無
1885年 (明治18年7月)	大雨	荒川破堤多く、浸水多数田畑の冠水甚大	無
1890年 (明治23年8月)	大雨	県下大洪水、荒川堤防破堤 甚大な災害となる	無
1894年 (明治27年8月)	大雨	荒川で堤崩壊、被害あり	無
1898年 (明治31年9月)	大雨	荒川氾濫	無
1907年 (明治40年8月)	大雨	県下大洪水荒川堤防決壊 被害甚大	無
1910年 (明治43年8月)	大雨	明治最大の大洪水で被害町村は管内全般にわたり荒川堤防決壊、用水悪水路などの破損は数しれず、死者249人	有 No. 1-1
1920年 (大正10年10月)	大雨	荒川が氾濫する	無
1928年 (昭和3年7月)	大雨	荒川に洪水あり	無
1938年 (昭和13年9月)	大雨	荒川では記録的な大洪水	無
1941年 (昭和16年7月)	大雨	荒川堤防決壊 多数の道路が決壊、田畑の被害多い	無
1947年 (昭和22年9月)	カスリーン台風	浸水7,093戸	無
1950年 (昭和25年7月)	ヘリーン台風	床上浸水90戸、床下浸水898戸	無
1953年 (昭和28年9月)	台風13号	床下浸水48戸と5工場、全壊工場1	無
1958年 (昭和33年7月～10月)	台風11号 台風21号 台風22号 雨	浸水431戸、床上浸水1,580戸、床下浸水3,350戸(狩野川台風) 死者2名、床上浸水26,798戸、床下浸水2,457戸床下浸水20戸(台風のゴミがつかえて水門開かず)	無
1959年 (昭和34年8月～9月)	台風7号 台風14号 台風15号	床上浸水215戸、床下浸水742戸、高潮 床下浸水27戸(伊勢湾台風) 床上浸水288戸、床下浸水493戸	無
1961年 (昭和36年5～6月)	強風 豪雨	(満潮) 床下浸水59戸 浸水500戸	無

1963年 (昭和38年9月)	豪雨	床上浸水40戸、床下浸水1,775戸	無
1964年 (昭和39年9月)	台風20号	床上浸水20戸	無
1965年 (昭和40年5月～8月)	低気圧 台風17号	浸水200戸 21日床下浸水741戸、23日再び床下浸水268戸	無
1966年(昭和41年6月)	4号	浸水39,427戸	無
1967年 (昭和42年8月～9月)	豪雨 前線	床上浸水30戸、床下浸水300戸 床下浸水130戸	無
1969年 (昭和44年8月)	台風9号	国道122号が16mにわたり20cmほど冠水	無
1971年 (昭和46年9月)	台風25号	浸水697戸	無
1982年 (昭和57年9月)	台風18号	浸水面積4,563ha、床上浸水3,530戸、床下浸水9,806戸	無
1986年 (昭和61年8月)	台風10号	浸水面積1,309ha、床上浸水594戸、床下浸水3,56戸	無
1989年 (平成3年9月)	台風18号	浸水面積659ha、床上浸水1,231戸、床下浸水5,794戸	無
1992年 (平成5年8月)	台風11号	浸水面積69ha、床上浸水308戸、床下浸水2,217戸	無
1996年 (平成8年9月)	台風17号	浸水面積289ha、床上浸水543戸、床下浸水1,164戸	無
1998年 (平成10年8月)	台風4号	浸水面積142ha、床下浸水668戸	無
1998年 (平成10年9月)	台風5号	浸水面積593ha、床上浸水2,449戸、床下浸水3,857戸	無
1999年 (平成11年8月)	熱低	浸水面積150ha、床上浸水5戸、床下浸水57戸	無
2001年 (平成13年9月)	台風15号	浸水面積1.6ha、床下浸水2戸	無

出典：川口市史

荒川左岸ブロック河川整備計画，武江年表
新井武二家文書，遠山良雄家文書，早船源左衛門文書，木村吉正家文書
中山育之家文書，須賀保治家文書，藤波喜久夫家文書，山下寛一家文書
並木孝家文書

川口市（旧鳩ヶ谷市）における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1729 (享保14年7月)	大風雨	辻村沼田耕地へ悪水流入 辻村と小淵村の間で沼田耕地の水除土手をめぐって論争、乱暴	無
1766 (明和3年7月)	大雨	辻村では田、畑13町余、百姓家居34軒が浸水	無
1786 (天明6年7月)	大雨	辻村・小淵村堺までの住居40軒程が床上浸水 飢餓人106人	無

出典：鳩ヶ谷市史

蕨市における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1907 (明治40年8月)	台風	22日からの台風の影響による雨のため、荒川の浦和市内の堤防が決壊し、蕨町の家屋、田畑の大部分が冠水した。	有 No. 1-2
1910 (明治43年8月)	台風	豪雨が3日間に及び、荒川の氾濫により蕨町は一面湖沼化した。床上浸水を免れた家屋は全戸数945戸の内、僅かに10戸に過ぎなかった。	有 No. 1-3
1938 (昭和13年6月)	台風	台風による豪雨で用水路が溢れ、3日間にわたり道路を流れた。仲上町、御殿町、旭町、土橋、下蕨、塚越地域は膝を没するまでの浸水。	無
1958 (昭和33年9月)	狩野川台風	熊谷市で雨量277mmを記録した。大雨は蕨町の道路を排水溝とし、家屋に浸水被害をもたらした。電柱の被害で市内は全市の大部分が停電。	無
1966 (昭和41年6月)	台風4号	台風4号により雨量は231mmとなり仲上町は出水80cm以上に達し市の半数家屋が浸水した。床上浸水家屋1,355戸、床下浸水家屋8,158戸	無

戸田市における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNo
1617 (元和3年4月)	大雨	関東に連日大暴風雨、入間川荒れる	無
1635 (寛永12年8月9日)	大雨	荒川大洪水になり、人畜の溺死するもの多し。	無
1717 (享保2年)	大雨	荒川大洪水	無
1720 (享保5年)	大雨	関東諸国大風雨に見舞われ、諸所に出水。	無
1727 (享保12年)	大雨	関東に江戸開府以来の大出水有り	無
1822 (文政5年)	大雨	夏、霜雨、戸田川出水	無
1856 (安政3年8月)	大雨	関東洪水	無
1859 (安政6年7月)	大雨	関東大風雨、利根川、荒川等増水	無
1878 (明治11年9月)	大雨	暴風雨、洪水あり。床上浸水多数、戸田橋は流出寸前であった。	無
1889 (明治22年9月)	大雨	9月11日からの暴風雨のため戸田橋付近増水5.1メートルとなり、床上浸水多数	無
1890 (明治23年8月)	大雨	風水害(美谷本一浸水32)、笹目一浸水70、戸田一浸水63	無
1892 (明治25年8月)	大雨	荒川増水5.1メートル、床上浸水多数	無
1896 (明治29年9月)	大雨	荒川増水(戸田橋付近で6.6メートルになり被害甚大)	無
1898 (明治31年9月)	大雨	風水害(美女木一浸水44、流破壊2、笹目一浸水37、戸田一浸水63)	無
1907 (明治40年8月)	大雨	暴風雨により利根川、荒川など大洪水(「40年の水」という)	有 No. 1-4

1910 (明治 43 年 8 月)	大雨	8 日～20 日まで降雨、利根川、荒川筋堤防決壊、きわめて被害甚大となる(「43 年の水」)	有 No. 1-5
1947 (昭和 22 年 9 月)	キャスリン台風	キャスリン台風による荒川洪水(この時の堤外地居住世帯 113、人口 635)(戸田一浸水 76、美笹一浸水 122、流破壊 37)	有 No. 1-6
1958 (昭和 33 年 8 月)	台風 21 号、22 号	台風 21 号、2 号で県下暴風雨、荒川・芝川洪水で川口市・戸田町浸水、災害救助法発動し、自衛隊出動	有 No. 1-7
1966 (昭和 41 年 9 月)	台風 4 号 台風 26 号	台風 4 号で災害御救助帆発動(浸水 4,795、負傷者 2)、台風 26 号(浸水 1,315、破壊 9、負傷者 2)	有 No. 1-8
1971 (昭和 46 年 9 月)	台風 23 号	台風 23 号 8 月 31 日午後から 1 日未明にかけて関東南部に襲来本市も浸水家屋でる。(床上浸水 41、床下浸水 657)	無
1977 (昭和 52 年 8 月)	大雨	19 日集中豪雨に見舞われる。床上浸水 17、床下浸水 177、道路冠水 120 箇所。	無
1978 (昭和 53 年 4 月)	大雨	6 日低気圧による集中豪雨。床上浸水 13、床下浸水 78	無
1981 (昭和 56 年 10 月)	台風 24 号	22 日、床上浸水 12、床下浸水 200	無
1982 (昭和 57 年 9 月)	台風 18 号	11 日～12 日、床上浸水 93、床下浸水 632	無
1986 (昭和 61 年 8 月)	台風 10 号	4 日、床上浸水 9、床下浸水 27	無
1991 (平成 3 年 9 月)	台風 18 号	18～19 日、床上浸水 43、床下浸水 89	無
1993 (平成 5 年 8 月)	台風 11 号	26～27 日、床上浸水 3、床下浸水 4	無
1999 (平成 11 年 7 月)	大雨	21 日、雷雨による集中豪雨。床上浸水 14、床下浸水 23	無
2006 (平成 18 年 5 月)	大雨	24 日、雷雨による集中豪雨。床上浸水 11、床下浸水 25	無
2011 (平成 23 年 8 月)	大雨	26 日、雷雨による集中豪雨。床上 3、床下 24、道路冠水 71	無
2013 (平成 25 年 10 月)	台風 26 号	15～16 日、床上浸水 1、床下浸水 2 道路冠水 29	無
2014 (平成 26 年 6 月)	大雨	26 日、床上浸水 2、床下浸水 5、道路冠水 25	無
2015 (平成 27 年 9 月)	台風 18 号	9～10 日床下 1、道路冠水 16	無

出典：戸田市主要年表 戸田市ホームページ
戸田市危機管理防災課資料

春日部市(旧春日部市)における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無と NO
1671 (寛文 11 年)	長雨	市域で水害の初見。新方袋村の年貢割付状「式百七拾五文水損引」。長雨か古隅田川の洪水によるものか断定不可。	無
1704 (宝永元年)	大雨	古利根川大水。猿俣土手を押し切り田が水浸。粕壁宿では多くの罹災者が生じ幕府は救恤。	無

1713 (正徳3年)	大雨	新方袋村水害。9町のうち1町歩の田が「水腐」となり、税の対象外となる。	無
1742 (寛保2年7-8月)	大雨	利根川筋大水。古今未曾有の大惨事。諸河川や用悪水復旧はその大きさから大名手伝普請。市域(古利根川、庄内古川)では熊本藩細川氏。	無
1761 (宝暦11年6月)	大雨	古隅田川大水(決壊)。上蛭田村、道口蛭田村、道順川戸村、下蛭田村の田畑大被害。	無
1766 (明和3年6-7月)	大雨	倉松落堀が決壊。樋籠村、八丁目村、不動院野村の田畑、住家の床上浸水。幕府はお手伝普請を大名に命じる。松平陸奥守であった。	無
1768 (明和5年)	大雨	樋籠村、水害のため破免。「米26石2斗5升水損引」	無
1780 (安永9年6月)	大雨	古利根川が決壊し洪水が備後村を襲った。65軒のうち50軒の者が飢え夫食を願い出る。	無
1783 (天明3年6-7月)	大雨と浅間山噴火	6月大雨で上大增村の田、水を被る。7月浅間山噴火。利根川等の河床が急激に上昇し、洪水を引起した。市域(銚子口村、道口蛭田村、粕壁宿、備後村)でも大きな被害となって税が減免される。	無
1786 (天明6年7月)	大雨	古利根川が決壊。粕壁宿番所で7尺5寸の水位、備後村で床上7尺。諸道具、夫食まで流される。被害が大きく減免される(備後村、銚子口村、粕壁宿、道口蛭田村、樋籠村)。このような降灰、洪水により凶作となり天明4年以降慢性的な飢饉となった。見川喜蔵が自費で古利根川の古堤の上に盛土をして囲堤を増築した。	無
1791 (寛政3年)	大雨	古利根川が増水し新町橋流失、決壊。喜蔵は村人を督励し堤の上に土俵を築いた(喜蔵堤といわれ長さ460間)。これにより粕壁から下流2.3万石の地域が水害から免れる。	有 No. 1-9
1802 (享和2年)	大雨	利根川筋大水	無
1820 (文政3年)	長雨		無
1823 (文政6年)	大雨	利根川大水	無
1824 (文政7年)	大雨	利根川満水	無
1840 (天保11年)	大雨	田畑冠水	無
1856 (安政3年)	大雨	風水害	無
1859 (安政6年)	大雨	大水	無
1890 (明治23年8月)	大風雨	利根川筋大水。行田市地先の堤防59間(100m余)決壊。各地の堤防25か所、橋梁流失116か所、被害町村326、死者16、冠水地6,000町歩。北埼玉、南埼玉、北葛飾の諸郡下に氾濫が及ぶ。市内での家屋浸水は粕壁宿78戸、内牧村70戸、豊春村75戸、武里村1戸。	有 No. 1-10

1910 (明治 43 年 8 月)	大雨	利根川筋大水。元荒川の堤防に土俵を積んで市域への洪水を防いだが土俵を乗り越えて押し寄せた。権現堂川筋の堤防決壊。翌日、大落古利根川が溢れて、新町橋が切断流失。新方領の耕地整理事業地域では沼のようになって、洪水が引くのに 15 日かかり、稲は全滅、施設にも大きな被害。豊野村、幸松村にも大きな被害が出る。内牧村では全村が 20 余日浸水、357 町歩のうち収穫皆無が 319 町歩。	無
1947 (昭和 22 年 9 月)	カスリーン台風	2 日間で秩父に 611 mm の大雨を降らせ、利根川、荒川等県内 124 ヲ所の堤防が決壊した大水害。利根川からの濁流は市内に流れ込み、一部の高台を除いて全村水浸しとなった。旧春日部市内での被害は死者 2 (幸松村)、床上 2,509 床下 1,306、罹災人口 20,980 人で幸松村の比率が高かった。収穫期を迎えた稲の被害では収穫皆無の面積が全体で 49.5%であったが、幸松村と豊野村では 95%であった。	有 No. 1-11
1971 (昭和 46 年 8-9 月)	台風 23, 25, 26 号 及び秋雨前線	主に内水氾濫による被害 床上浸水 10、床下浸水 800 計 810 棟	無
1986 (昭和 61 年 8 月)	台風 10 号及び豪雨	主に内水氾濫による被害 床上浸水 280、床下浸水 1,062 計 1,342 棟	無
1993 (平成 5 年 8 月)	台風 11 号	主に内水氾濫による被害 床上浸水 52、床下浸水 1,332 計 1,384 棟	無
2008 (平成 20 年 8-9 月)	豪雨	主に内水氾濫による被害 床上浸水 74、床上浸水 1,244 計 1,318 棟	無
2015 (平成 27 年 9 月)	台風 18 号	主に内水氾濫による被害 床上浸水 134、床上浸水 1,031 計 1,165 棟	無

出典：春日部市史 第 6 巻 通史編 I， 春日部市史 第 6 巻 通史編 II
 図録春日部の歴史—春日部市史普及版—， 春日部市地域防災計画

春日部市（旧庄和町）における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無と NO
1742 (寛保 2 年 8 月)	大雨	栗橋並びに中島村破堤浸水	無
1757 (宝暦 7 年 5 月)	大雨	八甫堤破壊浸水	無
1766 (明和 3 年 6 月)	大雨	西親ノ井破堤浸水	無
1772 (安永 2 年 6 月)	大雨	花島村破堤浸水	無
1786 (天明 6 年 7 月)	大雨	中島、花島村其他諸所破堤浸水、関東一帯の大水、開府以来未聞なり。	無
1791 (寛政 3 年 8 月)	大雨	築比地村破堤浸水	無
1793 (寛政 5 年 正月)	地震	中島村破堤浸水	無
1802 (享和 2 年 7 月)	大雨	権現堂破堤浸水	無
1828 (文政 11 年 4 月)	大雨	金杉挾堤破堤逆水にて浸水	無

1846 (弘化3年6月)	大雨	川俣破堤浸水	無
1856 (安政3年8月)	大風雨		無
1868 (明治元年)	大雨	明治元年より3カ年に亘って浸水地あり「3年の水入」と称し農家大いに疲弊し、本村土地にして他町村民の所有に帰するに至りしはここに原因すという。漸次恢復に向いつつあれども尚一層村民の覚醒せる努力を要する所なり。 (注 中島村、花島村は庄内領の村である) 以上は大正12年に記された南櫻井村郷土誌の水害の記事であり、そこには項目だけがあげられている。	無

出典：江戸時代の庄和町 昭和54年3月 山本洋一

草加市における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1910 (明治43年8月)	大雨	利根川・荒川の氾濫水及び逆流水等で市内のほぼ全域が水没、調査対象者の7割が被害 (埼玉県：死者324人、負傷者77人、家屋被害2,214棟(全壊、半壊)、破損24,849棟、流失1,631棟 床上・床下浸水84,538棟)	有 No. 1-12
1947 (昭和22年9月)	カスリーン台風	谷塚・草加・新田地区の作付面積9,548反の内806反8.4%が被害、道路河川で各々1カ所災害復旧工事の対象(利根川：大利根町新川通決壊)	無
1979 (昭和54年10月)	台風18号	床上浸水3棟、床下浸水532棟	無
1979 (昭和54年10月)	台風20号	床上浸水789棟、床下浸水7,523棟	無
1981 (昭和56年4月)	低気圧	床上浸水2棟、床下浸水77棟	無
1981 (昭和56年10月)	台風24号	床上浸水462棟、床下浸水5,920棟	無
1982 (昭和57年9月)	台風18号	床上浸水1,432棟、床下浸水11,352棟	無
1983 (昭和58年6月)	雷雨	床上浸水3棟、床下浸水358棟	無
1983 (昭和58年9月)	台風10号	床上浸水1棟、床下浸水36棟	無
1985 (昭和60年6月)	梅雨前線	床上浸水8棟、床下浸水69棟	無
1985 (昭和60年6月)	台風6号	床上浸水74棟、床下浸水637棟	無
1985 (昭和60年9月)	雷雨	床上浸水15棟、床下浸水324棟	無
1986 (昭和61年8月)	台風10号	床上浸水2,132棟、床下浸水10,531棟	無
1991 (平成3年9月)	台風18号	床上浸水1,683棟、床下浸水11,168棟	無

1993 (平成 5 年 8 月)	台風 11 号	床上浸水 652 棟、床下浸水 2,910 棟	無
1996 (平成 8 年 9 月)	台風 17 号	床上浸水 46 棟、床下浸水 913 棟	無
2001 (平成 13 年 10 月)	低気圧	床上浸水 46 棟、床下浸水 913 棟	無
2004 (平成 16 年 9 月)	集中豪雨	床上浸水 20 棟、床下浸水 2 棟	無
2025 (平成 22 年 10 月)	台風 22 号	床上浸水 25 棟、床下浸水 82 棟	無
2016 (平成 25 年 10 月)	台風 26 号	床上浸水 19 棟、床下浸水 138 棟	無

越谷市における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無と No
1704 (宝永元年)	集中豪雨	小向（三郷市）と金町（葛飾区）の間で江戸川に合流していた古利根川の猿ヶ俣（葛飾区水元）で、太日川（江戸川）の逆流による堤防決潰で大水害となった。	無
1742 (寛保 2 年 8 月)	大雨	元荒川右岸西方村（越谷市相模町）の相模不動尊も冠水し浸水期間は 13 日間にわたった。 (越谷市史三史料) 綾瀬川通りの越巻町（越谷市新川町）では水深が六尺から七尺にもなり、軒下まで水につかった。	無
1757 (宝暦 7 年 5 月)	大雨	利根川の川俣（羽生市）の堤防決壊による押水により、古利根川と元荒川にはさまれた新方領の耕地が残らず冠水し、植付け間もない稲などに被害が出た。	無
1786 (天明 6 年 7 月)	大雨	利根川通りの堤防が各所で決壊し、幸手領・庄内領・松伏領・新方領は一円湖と化した。元荒川の堤防からも溢れ、西方村（越谷市相模町）では大相模の不動尊（大聖寺）境内以外は冠水した。人々の多くは不動尊境内に避難したが 10 日間は耕地の水が引かなかった。	有 No. 1-13
1846 (弘化 3 年 6 月)	大雨	越ヶ谷宿内藤家の日記に「古利根川や利根川の氾濫により幕府は被害の少なかった村に救助米の供出を割り当てたが、越ヶ谷宿では割当量の減免を許された。」	無
1859 (安政 6 年 7 月)	大暴風雨	花田村の新土手が決壊し花田耕地が浸水する。熊谷宿の久下村地先の荒川堤防決壊による氾濫水が元川上流から綾瀬川上流に流下し越谷宿周辺も浸水。	無
1885 (明治 18 年 5 月)	大雨	綾瀬川の出羽土手が決潰寸前となり懸命の水防活動で決潰は免れたが、越巻地域一帯（越谷市新川町）は大海同様となった。	無

1890 (明治 23 年 8 月)	大雨	利根川沿いで北埼玉郡須賀村下中条地先の堤防が 59 間決潰した。越谷市域では、元荒川通り大袋村大字大林の堤防 26 間の破壊や葛西用水路から溢れるなどにより、大沢町・大袋村・桜井村・新方村・増林村は一面の大海となり田畑は勿論家屋の床上まで浸水した。 綾瀬川でも出羽村大字越巻地先（新川町）で溢水した。	有 No. 1-14
1896 (明治 29 年 9 月)	大雨	古利根川の増水により潮止村（八潮市）に接する東京府南足立郡花畑村大字六ヶ木地内（足立区六木）が破堤し、潮止村・八幡村（八潮市）・川柳村・大相模村が浸水した。湛水は大相模村で 19 日間におよび 6 尺ないし 12 尺に達した。	無
1910 (明治 43 年 8 月)	大雨	元荒川の豊春村大字南中曾根と大袋村の埼玉鴨場裏の堤防が破壊し、氾濫水は新方領の豊春・粕壁・武里・川通・桜井・大袋・大沢・新方の各町村と増林村におよび、ほとんどの家屋の軒を没した。 綾瀬川の柏崎村、荻島村大字長島の堤防が破壊され、荻島・出羽・越ヶ谷・蒲生・大相模の各町村が浸水した。 元荒川と綾瀬川の氾濫水が合流し、八潮村、潮止村、八条村、川柳村など綾瀬川左岸と元荒川右岸全地域が浸水し、深いところでは床上 5 尺に達した。	無
1947 (昭和 22 年 9 月)	カスリーン台風	利根川右岸堤防決壊と古利根川、元荒川、逆川、千間堀の堤防決潰により、古利根川と元荒川にはさまれた地域を中心に甚大な被害となり、増林村は全ての家庭が被害を受けた。増林地区では 3,142 人が自然堤防上の微高地にある寺や学校に避難し 14 日間逗留した。 越谷地区全体の被害は、死者 0、負傷者 3、床上浸水 1,947、床下浸水 1,225、被災者合計 18,054	無
1950 (昭和 25 年 7 月)	ヘンリー台風	増林地区をはじめとして池沼跡の多い越谷地域の低湿水田地帯が浸水（内水被害）した。	無
1958 (昭和 33 年 9 月)	台風 22 号(狩野川台風)	増林地区をはじめとして池沼跡の多い越谷地域の低湿水田地帯が浸水（内水被害）した。 中川・綾瀬川流域全体で浸水面積 27,840ha、浸水戸数 41,544 戸	無
1981 (昭和 56 年 10 月)	台風 24 号	床上浸水 427 戸、床下浸水 1,788 戸	無
1982 (昭和 57 年 9 月)	台風 18 号	床上浸水 3,751 戸、床下浸水 3,868 戸 新方川が激甚災害対策特別緊急事業の採択を受けた。	無
1986 (昭和 61 年 8 月)	台風 10 号	床上浸水 1,760 戸、床下浸水 3,173 戸 新方川が激甚災害対策特別緊急事業の採択を受けた。	無
1991 (平成 3 年 9 月)	台風 18 号	床上浸水 1,082 戸、床下浸水 3,518 戸	無
1993 (平成 5 年 8 月)	台風 11 号	床上浸水 198 戸、床下浸水 2,904 戸	無

2015 (平成 27 年 9 月)	台風 18 号	床上浸水 463 戸、床下浸水 481 戸	無
-----------------------	---------	-----------------------	---

出典：越谷市史（一）
越谷市史（二）
越谷の歴史物語 第 1 集
越谷の歴史物語 第 2 集
わたしたちの郷土こしがや 越谷市教育委員会編
埼玉県史通史編 4 第 3 章農村の疲弊と社会の動揺
葛西用水史記載の内藤家水害記録
中川・綾瀬川直轄河川改修事業再評価資料（H22 年 11 月 16 日）
水害統計及び出水直後の聞き取り調査報告

八潮市における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無と NO
1655 (明暦元年)	大雨	度重なる台風や大雨により、家屋が流され、水が溜まり排水されず田畑では水腐れが発生するなど大きな被害が繰り返されていた。	有 No. 1-15
1742 (寛保 2 年 8 月)	大雨	7 月 28 日頃近畿地方に上陸した台風が、8 月 1 日関東地方全域を襲った。この洪水では利根川・荒川の各所で破堤が起こり、江戸市中にも浸水した。洪水期間は 10 数日にもおよび溺死者は 3,914 人に達した。	無
1786 (天明 6 年)	大雨	3 年前の浅間山大噴火により、多量の噴出物が堆積して泥土となり、河川に流れ込んだ結果、河床を大きく変化させ大洪水となった。	無
1846 (弘化 3 年)	大雨	利根川の氾濫に荒川の氾濫が加わって東京低地では広範囲にわたって浸水した。	無
1910 (明治 43 年)	大雨	明治時代最大級の洪水で、利根川本線の堤防はいたるところで破堤・越水し、東京下町に至る平野部一帯が浸水した。死者 769 人、行方不明 78 人、家屋崩壊 2,121 戸、家屋流出 2,769 戸 この被害を契機に、これまでの溢れることを前提とした治水から、連続堤防を築き、洪水流を川に閉じ込め、川を直線化していち早く海に流す治水に大きく方針転換をした。 八幡村では、綾瀬川の土手が決壊し、およそ 9 割の家屋が床上浸水となる。	無
1947 (昭和 22 年 9 月)	カスリーン台風	9 月 13 日から 15 日のカスリーン台風により利根川が破堤、江戸川や中川などが決壊した。死者 84 人、被災者 34 万 8,827 人	有 No. 1-16
1979 (昭和 54 年)	台風 20 号 106 ミリ	(八潮市内) 床上浸水 157 棟、床下浸水 404 棟 綾瀬川越水 4 か所	無
1982 (昭和 56 年)	台風 24 号 167 ミリ	(八潮市内) 床上浸水 399 棟、床下浸水 2,337 棟 綾瀬川越水	無
1983 (昭和 57 年)	台風 18 号 218 ミリ	(八潮市内) 床上浸水 335 棟、床下浸水 1,809 棟 綾瀬川越水	無

1986 (昭和 61 年)	台風 10 号 239 ミリ	(八潮市内) 床上浸水 238 棟、床下浸水 1,072 棟 垢川越水、葛西用水越水	無
1991 (平成 3 年)	台風 18 号 218 ミリ	(八潮市内) 床上浸水 217 棟、床下浸水 913 棟	無
1993 (平成 5 年)	台風 11 号 201 ミリ	(八潮市内) 床上浸水 201 棟、床下浸水 833 棟	無
1996 (平成 8 年)	台風 17 号 191 ミリ	(八潮市内) 床上浸水 31 棟、床下浸水 250 棟	無
2000 (平成 12 年)	台風 3 号	(八潮市内) 床上浸水 18 棟、床下浸水 195 棟	無
2001 (平成 13 年)	集中豪雨 88 ミリ	(八潮市内) 床上浸水 43 棟、床下浸水 442 棟	無
2008 (平成 20 年)	集中豪雨 116 ミリ	(八潮市内) 床上浸水 11 棟、床下浸水 153 棟	無
2009 (平成 21 年)	台風 18 号 90 ミリ	(八潮市内) 床上浸水 10 棟、床下浸水 25 棟	無

三郷市における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無と NO
1704 (宝永元年 6 月～7 月)	大雨	7 月 1、2 日まで、江戸近辺大雨。大水が出る。	無
1734 (享保 19 年 6 月)	大雨	江戸川の破堤 二郷半領の村々は洪水の被害を受ける。	無
1742 (寛保 2 年 7 月～8 月)	雨降り続く	三郷市内の河川増水で、各地で堤が切れ、村々は床上浸水となった。	無
1786 (天明 6 年 7 月)	大雨	16 日まで江戸・近国大雨降り続く。17 日は特に激しく降り、河川の堤が各地で切れる。	無
1793 (寛政 25 年 7 月)	大雨	2、3 日の大風雨で、江戸川出水。さらに 7 日の大風雨で江戸川は 10 合余の大出水。大膳村では江戸川堤がいくつも切れた。	無
1890 (明治 23 年 8 月)	大雨	利根川の加須で破堤、下流域に濁流が浸水 古利根川の戸ヶ崎・吉川村の堤防決壊、二郷半領一円浸水、多大な被害を受けた。	無
1896 (明治 29 年 9 月)	大雨	利根川、江戸川上流で決壊、浸水 二郷半量全戸浸水	無
1910 (明治 43 年 8 月)	大雨	洪水の被害は、中部、関東、奥羽地方の広範囲に及び甚大なものであった。 詳細は不明であるが、三郷市域も「埼玉新報」記者の実況記によると、大きな被害を受けているようである。	無
1948 (昭和 22 年 9 月)	カスリーン台風	利根川決壊、東京まで浸水、三郷湛水 2 週間以上	有 No. 1-17
1948 (昭和 23 年 9 月)	アイオン台風		無
1949 (昭和 24 年 8 月)	キティ台風	三郷水害	無
1950 (昭和 25 年 7 月)	ヘリー台風		無
1952 (昭和 27 年 6 月)	ダイナ台風		無

1958 (昭和 33 年 9 月)	狩野川台風	各地で浸水 三郷広域で浸水	無
1959 (昭和 34 年 9 月)	伊勢湾台風	中川流域で浸水	無
1961 (昭和 36 年 6 月)	梅雨前線豪雨	中川流域浸水	無
1966 (昭和 41 年 6 月)	台風 4 号	中川流域浸水	無
1972 (昭和 47 年 9 月)	台風 20 号		無
1981 (昭和 56 年 10 月)	台風 24 号	江戸川・中川沿い大雨	無
1982 (昭和 57 年 9 月)	台風 18 号	利根川増水	無
1986 (昭和 61 年 8 月)	台風 10 号		無
1991 (平成 3 年 9 月)	台風 18 号	降雨量 226mm 家屋浸水 547 棟	無
1992 (平成 4 年 10 月)	大雨	降水量 123mm 家屋浸水 122 棟	無
1993 (平成 5 年 8 月)	台風 11 号	降水量 200mm 家屋浸水 735 棟	無
1996 (平成 8 年 9 月)	台風 17 号	降水量 211mm 家屋浸水 346 棟	無
2000 (平成 12 年 7 月)	台風 3 号	降水量 185.5mm 浸水家屋 135 棟 (床上 8 棟、床下 127 棟)	無
2001 (平成 13 年 6 月)	集中豪雨	降水量 133.5mm 家屋浸水 178 棟 (床上 52 棟、床下 127 棟)	無
2004 (平成 16 年 10 月)	台風 22 号	降水量 184.5mm 家屋浸水 53 棟 (床上 12 棟、床下 41 棟)	無
2004 (平成 16 年 10 月)	台風 23 号	降水量 165.5mm 家屋浸水 38 棟 (床上 2 棟、床下 36 棟)	無

出典：三郷市史及び三郷市地域防災計画

吉川市における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無と NO
1704 (宝永元年 6 月～7 月)	江戸近辺大雨	大川筋其の外大水。8 月 4 日より山水出で下総猿が又土手崩れ被害	無
1742 (寛保 2 年 7 月)	大雨	8 月権現村押切れ申候 (中川流域の広範囲で出水)	無
1772 (安永元年)	大雨	5 度の水難により、吉川村のいり樋が 2 度にわたり大破した。	有 No. 1-18
1783 (天明 3 年 6 月)	大雨	「式郷半領水難の事」に「天明 3 年 7 月、上笹塚村押切れ申候」とあり、当地域も被災が想定される。	有 No. 1-19
1843 (弘化 3 年 6 月)	大雨	「式郷半領水難の事」には、「6 月 21 日上笹塚村いり樋抜る」・・・一体の村々大水害	
1890 (明治 23 年 8 月)	大雨	広範囲に浸水被害発生	
1896 (明治 29 年 9 月)	大雨	江戸川大水害により深井新田他地先を破り、一帯大被害	

1910 (明治 43 年)	大雨	庄内古川加藤門扉附近破壊 (8 月 15 日) 豊野村牛島地内古利根川決壊し、市内広域に被害発生	無
1938 (昭和 13 年)	大雨	倒壊家屋 1 棟、浸水 101 棟	無
1947 (昭和 22 年)	カスリン台風	死傷者 3 名、倒壊家屋 5 棟、浸水 2,269 棟	有 No. 1-20
1966 (昭和 41 年)	台風 4 号	浸水 10 棟	無
1979 (昭和 54 年)	台風 20 号	床下浸水 4 棟	無
1982 (昭和 57 年)	台風 18 号	床上浸水 31 棟、床下浸水 184 棟	無
1985 (昭和 60 年)	台風 6 号	床上浸水 18 棟、床下浸水 82 棟	無
1986 (昭和 61 年)	台風 10 号	床上浸水 2 棟、床下浸水 120 棟	無
1989 (平成元年)	台風 13 号	負傷者 1 名	無
1989 (平成元年)	台風 22 号	床下浸水 2 棟	無
1991 (平成 3 年)	台風 18 号	床上浸水 18 棟、床下浸水 82 棟	無
1992 (平成 4 年)	大雨	床下浸水 50 棟	無
1993 (平成 5 年)	台風 11 号	床上浸水 25 棟、床下浸水 980 棟	無
1993 (平成 5 年)	大雨	床下浸水 3 棟	無
1996 (平成 8 年)	台風 17 号	床下浸水 117 棟	無
1999 (平成 11 年)	大雨	床上浸水 4 棟、床下浸水 10 棟	無
2000 (平成 12 年)	台風 3 号	床下浸水 35 棟	無
2004 (平成 16 年)	台風 22 号	床下浸水 19 棟	無
2004 (平成 16 年)	台風 23 号	床下浸水 35 棟	無
2008 (平成 20 年)	大雨	床上浸水 1 棟、床下浸水 8 棟	無
2009 (平成 21 年)	台風 9 号	床下浸水 6 棟	無
2013 (平成 25 年)	台風 26 号	床下浸水 26 棟	無

出典：吉川市史及び吉川市地域防災計画

松伏町における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無と NO
1704 (宝永元年 8 月)	大雨	利根川・中川・荒川が氾濫し大洪水となる。	無

1717 (享保 2 年 8 月)	大雨	関東諸国大風雨で田畑損耗。江戸の武家・町屋多く破損。二郷半領・松伏領に大被害。	無
1721 (享保 6 年 7・8 月)	大雨	松伏領上内川村堤が破堤。 松伏領吉場村(松伏町)堤防が決壊。	無
1728 (享保 13 年 9 月)	大雨	江戸と関東各地で大洪水。両国橋外が流出、死傷者が 3 千 5 百人に達する。加藤村の江戸川堤が破堤。広さ 3 反余の池ができる。	無
1736 (享保 21 年/元文元年)	大雨	利根川洪水破堤。松伏領金杉村の江戸川堤防下に砥根河重疏碑が造塔。	有 No. 1-21
1742 (寛保 2 年 8 月)	大雨	利根川・荒川大洪水(江戸時代最大の洪水と言われる)	無
1786 (天明 6 年 7 月)	大雨	関東で幕府開設以来最大の洪水。被害は享保 2 年の 10 倍と言われる。	無
1793 (寛政 5 年 7 月)	大雨	2・3 日の大風雨で江戸川出水。7 日の大風雨で大川戸村(松伏町)の古利根川、大膳村(三郷市)の江戸川堤が破堤。	無
1828 (文政 11 年 6・7 月)	大雨	大雨で江戸川が増水、金杉村・上内川村地内の庄内古川堤が破堤。床上まで浸水。	無
1846(弘化 3 年 6 月 21 日)	大雨	江戸川から庄内古川への逆流で上笹塚村の新坎が破堤。松伏領・二郷半領は床上 7 尺水が上がり 8 月まで水が引かず。「丙午の厄災」と呼ばれる大災害。	無
1896 (明治 29 年 9 月)	大雨	江戸川が破堤し、二郷半領及び松伏領を流下する大水害。	無
1910 (明治 43 年)	大雨	未曾有の洪水により中条堤破堤、利根川・荒川・渡良瀬川筋堤防決壊。県下大被害。死者 324 人、全壊・流失家屋 8 万 4538 戸。	有 No. 1-22
1914 (大正 3 年 8 月)	大雨	県下各地に、死者 5 人、全半壊・流出 144、床上・床下浸水 1 万 8951、堤防波堤・破損 1732 戸、道路流出・破損 1149、橋梁流出・破損 679 カ所の被害。	無
1935 (昭和 10 年 6 月)	台風前線	台風と前線により、県下一帯で豪雨。利根川妻沼橋が流出等各地に被害。死傷者 3 人半壊家屋 1 戸、床上・床下浸水 4412 戸。	無
1938 (昭和 13 年 7 月)	台風	台風により、県東部の死傷者 23 人、全半壊・流出家屋 968 戸、床上・床下浸水 3574 戸、農作物被害面積 4 万 7210 町歩。	無
1941 (昭和 16 年 7 月)	台風	台風により、全半壊・流出家屋 50、床上・床下浸水 2 万 8122 戸、堤防決壊・破損 138、橋梁流出・破損 277 カ所、農作物被害 1 万 5183 町歩	無
1947 (昭和 22 年 9 月)	カスリン台風	台風による大雨で、利根川・荒川氾濫。16 日、北埼玉郡東村(大利根町)の利根川右岸堤防が約 350m 決壊し、県東部大水害。	有 No. 1-23
2015 (平成 27 年 9 月)	台風 18 号 集中豪雨	床上浸水 93 戸、床下浸水 201 戸 寿橋付近から県道 500m 含む 5 カ所通行止め。	有 No. 1-24